

商業施設や他の交通モードと連携したグリスロ運行による外出促進や健康増進効果の検証

「交通」×「買い物」「まちづくり」（兵庫県三田市）

事業実施主体

【共創プラットフォーム】三田市モビリティサービス実証推進協議会

【運送事業主体】三田市

※まちづくり協議会に運行委託

【共創パートナー】北摂コミュニティ開発センター（ショッピングセンター運営事業）

アシックス（スポーツ用品メーカー）

神姫バス、神戸電鉄 等

地域課題

- ・フラワータウン（ニュータウン）の高齢化の進展（特にまちの外縁部では40%以上）
- ・地域内における徒歩移動の鈍化（坂も多い地域もあり、まちの中心部への移動が厳しくなっている現状）

実証事業の内容

- ・フラワータウン内の新しい移動手段として**グリーンスローモビリティ**を導入し、ショッピングセンターによる**クーポン**の配布や、神姫バス・神戸電鉄による**エリア内定額乗車券**の発行と連携することで、**グリスロ利用と一体となった外出**を促進。
- ・アシックスは、グリスロ利用を含む**外出時の運動量増加**について、Bluetoothを搭載した**スマートシューズ**を用いたモニター分析・効果検証を実施。

今後の展開

- ・実証結果を踏まえた行政負担のクロスセクター分析等、新たなアプローチの検討。

<共創のモデル>

共創モデル

モビリティ	・地域のまちづくり協議会の協力得ながら、自宅からフラワータウンセンター地区まで、環境に優しく低騒音で小回りがきくことで地域と調和し、新たに乗合によるコミュニティ醸成も期待できるものとしてグリーンスローモビリティを運行 ※定時定路線型、無償運行
モビリティ お出かけ	・センター地区の商業施設や交通事業者の協力を得ながら、暮らしに身近な「買い物」や「病院」といった目的地となる拠点での、QRコード等を活用したポイント付与等により移動に伴う付加価値を創出し、外出促進を図る
モビリティ データ活用	・QRコード読み取りやBluetoothによる位置情報の獲得から、サービス利用者の移動履歴を把握し、来店者数やサービスの利用頻度など利便施設へもたらす影響や流動状況を検証し、実装にむけた課題抽出、データ活用による持続性確保の可能性を計る
モビリティ 健康増進	・高齢者の外出促進を図るためフレイル予防教室等のイベント開催 ・イベントや既存の健康増進事業への参加にグリーンズローモビリティを活用 ・Bluetoothを搭載したシューズを使って運動量の増加がもたらす効果を検証
モビリティ モビリティ	・まちの中心部にある鉄道駅やバス停から域外の主要な鉄道駅やバス停までのエリア定額制を実施し、幹線交通と端末交通の相互連携と利用促進を図り、域内で階層別に役割分担された交通ネットワークの構築を行う
モビリティ ライフスタイル	・バスの乗り方教室やスマホ教室を開催 ・パーソナルモビリティや自動運転のグリーンズローモビリティに試乗する機会を設け、ライフステージにあわせた様々なモビリティとの向き合い方を提案し、持続可能な地域公共交通の確保・維持にむけた意識醸成を図る ・新モビリティサービスの社会受容性を含めた住民ニーズを探る

<事業スキーム>

